

スローガン

余弦のミュートに気を配りながら
6本弦を一気に上昇&下降せよ!

LEVEL ★★★★★

左手	右手
	耐久力
	技術
	制御

準備運動

まずはコード・トーン・ポジションを覚えよう。くり返し弾いて、指に叩き込むべし!

本番練習

速くなるほどジョイント部分の音が濁りやすくなるので、指をうまく反らせてミュートを掛けよう。

TRACK 65

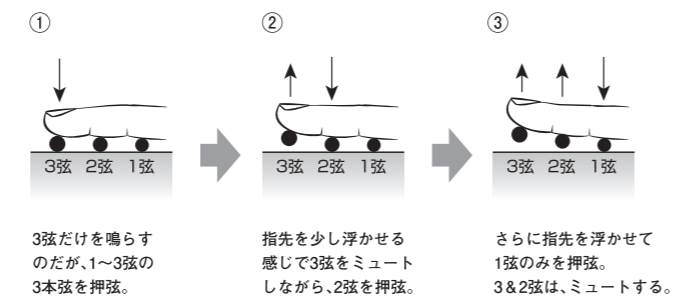
整理運動

テンポはさほど速くないが、その分“タメる”感覚が必要になる。ハシらないように注意!

弦移動に合わせて
指先の反りをコントロール!

6本弦スウィープによるコード・トーン・フレーズだ。スウィープはやはり使用弦が増えるほど難易度が上がるもので、特に本番練習1&2小節目1拍目のようなマイナー・コードの1~3弦の押弦が難しいので注意しよう。このような箇所では、指先(人差指)で弦移動を感じながら、ピッキングに合わせて指の反りを的確にコントロールしていくことが大切だ(図)。同時に、低音弦を右手で軽くブリッジ・ミュートすると、余計な倍音が発生することを防げるだろう。超絶プレイでは、弾かない音(弦)をいかに出さないかということが大きなポイントになるので、常にノイズ対策には細心の注意を払うように心掛けてほしい。

図 人差指の押弦&ミュート



スローガン

激しい横移動をくり返して
“うねり”を生み出そう!

LEVEL ★★★★★

左手	右手
	耐久力
	技術
	制御

準備運動

ポジション大移動の基礎エクササイズ。オクターブ移動の感覚をしっかり掴もう。

本番練習

すべての音を綺麗に鳴らすというよりも、大きなウネリのあるサウンドを目指そう!

TRACK 66

整理運動

本番練習よりも遅いが、メロディはより印象的。本番練習と同じテンポで弾けたら超絶だ!

事前に使用ポジションを
左手に叩き込んでおこう!

このポジション大移動フレーズは、実はもともと筆者が得意とする“ハタリ技”の1つだったのだが、練習を続けていたら綺麗に発音できるようになったので、本書でも紹介することにした(笑)。1オクターブ=12フレット分移動する箇所が多いので、事前にフレーズの流れ(ポジション)を左手に叩き込んでおくと良いだろう(写真1~3)。ただ、このフレーズはパフォーマンス性が高い内容になるので、1音1音を厳密に綺麗に鳴らしていくというよりは、全体を通して大きな“うねり”のあるサウンドになるように練習してほしい。この超絶フレーズをマスターして、ギター・プレイの限界を超えよう!

